

## 富山大学看護学会誌投稿規定

1. 掲載対象論文：看護学とその関連領域に関する未発表論文（原著・短報・総説等）を対象とする。
2. 論文著者の資格：全ての著者は富山大学看護学会会員であることが必要である。  
（学会加入手続きは本誌掲載富山大学看護学会会則第3章を参照のこと）
3. 投稿から掲載に至る過程：
  - 1) 投稿の際に必要なもの
    - ①初投稿の際
      - ・原稿1部（図表を含む）
      - ・著者全員の学会費納入を照明する書類（郵便払い込み票あるいはそのコピー）
      - ・査読料としての3,000円の郵便定額小為替
    - ②査読後再投稿の際
      - ・原稿2部
      - ・原稿をファイルしたフロッピーディスク（投稿者名、使用コンピューター会社名、ワープロソフト名を貼付）
  - 2) 査読：原則として編集委員会が指名した複数名の査読者によりなされる。
  - 3) 掲載の可否：査読結果およびそれに対する対応をもとに、最終的には編集委員会が決定する。
  - 4) 掲載順位、掲載様式など：編集委員会が決定する。
  - 5) 校正：著者校正は2校までとし、その際、印刷上の誤りによるもののみにとどめ、内容の訂正や新たな内容の加筆は認めない。
4. 掲載料の負担：依頼原稿以外原則として著者負担とする。発刊後頁数に応じ、別刷請求著者に別途請求する。
5. 原稿スタイル
  - 1) 原稿はワープロで作成したものをA4用紙に印字したものとする。  
上下左右の余白は2cm以上をとり、下余白中央に頁番号を印字する。
    - ①和文原稿：
      - ・平仮名まじり楷書体により平易な文章でかつ遂行を重ねたものとする。  
仮名づかいは現代仮名づかい、漢字は特別な熟語以外は当用漢字の範囲にとどめる。  
外来語はカタカナ、外国人名または適当な訳語がない熟語は言語を用いる（語頭のみ大文字）。
      - ・句読点には、「,」および「.」を用い、文節のはじめ（含改行後）は、1字あける。
      - ・横書き12ポイント22文字×42行を1頁とし、原著・総説では20頁以内、短報では10頁以内とする。
      - ・英文文末要旨（下記2）－参照）は英語を母国語とする人による校閲を経ることが望ましい。
    - ②英文原稿：
      - ・英語を母国語とする人による校閲を経た原稿が望ましい。
      - ・12ポイント、ダブルスペースで作成し、単語の途中で改行してはならない。
      - ・原著・総説では20頁以内、短報では10頁以内とする。
      - ・特に指定のないかぎり論文タイトル、表・図タイトルを含む全ての論文構成要素において、最初の文字のみ大文字とする。但し、著者名のうち姓はすべて大文字で記す。

2) 原稿構成は、表紙、(文頭)要旨(含キーワード)、本文、(文末)要旨、表、図説明文、図の順とする。但し、原著・短報以外の原稿(総説等)には要旨(含キーワード)は不要である。

頁番号は表紙から文末要旨まで記し、表以下には記さない(従って、表以下は頁数に含まれない)。

(1)表紙(第1頁)の構成:①論文の種類、②表題、③著者名、④著者所属機関名、⑤ランニング・タイトル(和字20文字以内)、⑥別刷請求著者名(兼掲載料請求者)・住所・電話番号・FAX番号、⑦別刷部数(50部単位)。

- ・著者が複数の所属機関にまたがる場合、肩文字番号(サイズは9ポイント程度)で区別する。
- ・和文・英文原稿を問わず、②～④以外は全て和文による。
- ・但し、論文の種類に拘らず、標題は和文と英文の両者を記すこと(総説においては第1頁に重記、その他の論文では下記要旨を参照のこと)。
- ・英文標題は、最初の文字のみ大文字とする。

(2)(文頭)要旨(Abstract)(第2頁):表題、著者名、所属に続き、改行し要旨(Abstract)と行中央太文字で記し、さらに改行し本文を記す。本文は和文原稿では400文字、英文原稿では200語以内で記す。本文最後には、1行あけて5語以内のキーワードを付す。それらは太文字を用い、「キーワード(key words):」に続き書き始め、各語間は「,」で区切る。英語では、すべて小文字を用いる。

(3)本文(第3頁～)

- ・原著:序(Introduction)、研究方法(Methods)、結果(Results)、考察(Discussion)、結語(Conclusion)、謝辞(Acknowledgments)、引用文献(References)の項目順に記す。各項目には番号は付けず、行中央に太文字で表示する。項目間に1行のスペースを挿入する。
- ・短報:上記各項目の区別を設けず記載する。
- ・総説:序・謝辞・文献は原著に準拠し、それ以外の構成は特に問わない。
- ・但し、人文科学的手法による論文の構成はこの限りでない。

(4)引用文献:関連あるもののうち、引用は必要最小限度にとどめる。

- ・本文引用箇所の記載法:右肩に、引用順に番号と右片括弧を付す(字体は9ポイント程度)。同一箇所に複数文献を引用する場合、番号間を「,」で区切り、最後の番号に右片括弧を付す。3つ以上の連続した番号が続く場合、最初と最後の番号の間を「-」で結ぶ。
- ・本文末引用文献一覧の記載法:本文に引き続き論文に引用した文献に限り番号順に以下の様式に従い記載する。

○著者名は全て記載する。英文文献では、Family Nameに続きInitialをピリオド無しで記載し、最後の著者名の前にandは付けない。

○雑誌の場合

著者名:論文タイトル。雑誌名 巻:初頁-終頁、発行年(西暦)の順に記す。

雑誌名の略記法は、和文誌では医学中央雑誌、英文誌ではIndex Medicusのそれに準ずる。

但し、英文誌では略語間はスペースで区切り「.」は入れない。

例:

- 1) 近田敬子, 木戸上八重子, 飯塚愛子:日常生活行動に関する研究. 看護研究 15:59-67, 1962.
- 2) Enders JR, Weller TH, Robbins FC: Cultivation of the poliovirus strain in cultures of various tissues. J Virol 58:85-89, 1962.

○単行本の場合

- ・全引用:著者名:単行本表題(2版以上では版数). 発行所, その所在地, 西暦発行年.

- ・一部引用：著者名：表題（2版以上では版数）、単行本表題、編集者、初頁-終頁、発行所、その所在地、西暦発行年。

例：

- 1) 砂原茂一：医者と患者と病院と（第3版）。岩波書店、東京、1993.
- 2) 岩井重富、矢越美智子：外科領域の消毒、消毒剤（第2版）、高杉益充編、pp76-85、医薬ジャーナル社、東京、1990.
- 3) Horkenes G, Pattison JR: Viruses and diseases. In "A practical guide to clinical virology (2nd ed), Hauknes G, Haaheim JE eds, pp5-9, John Wiley and Sons, New York, 1989

○その他（印刷中、投稿中）の場合：これらの引用に関する全責任は著者が負うものとする。

- 1) 立山太郎：看護学の発展に及ぼした法的制度の研究。富山大学看護学会誌、印刷中（投稿中）。

(5)文末要旨：新たな頁を用い、標題、著者名、所属機関名に次いで文頭要旨に準拠し、和文原稿では英訳したもの、英文原稿では和訳したものをそれぞれ記す。

(6)表および図（とその説明文）：その使用は必要最小限度にとどめる。

用紙1枚に1表（または図）を記すが、そのサイズはキャビネ判（14.5cm×19.5cm）程度にとどめる（印刷仕上がり時適宜縮小されることになる）。

和文原稿においては、図表の標題あるいは説明文は英文で記してもよい。

肩文字のサイズは9ポイント程度とする。

本文左欄外に、各図表挿入位置を指定する。

- ・表：最小限の横罫線を使用し、縦罫線はなるべく使用しない。

表題は、上段に表番号（表1.あるいはTable 1.）に続き記載する。

脚注を必要する表中記載事項は、その右肩に表上左から表下右にかけて出現順に小文字アルファベット（または番号）を付す。有意差表示は右肩星印による。表下欄外の脚注には、表中の全ての肩印字に対応させ簡易な説明文を記載する。

- ・図説明文：別紙にまとめて図番号順に記す。構成は、図番号（図1. またはFig. 1.）に次いで図標題、説明本文となる。本文には、図中に表示した全ての印字が何を示すかの説明が含まれていなければならない。

- ・図：A4版白色用紙あるいは青色グラフ用紙に黒インクで記し、下段余白部分に図番号（図1. またはFig. 1.）および代表著者名を記す。

写真（原則としてモノクロ）は鮮明なコントラストを有するものに限定し、裏面に柔らかい鉛筆で図番号および代表名を記すか、またはそれらを記した紙片を貼付する。

(7)その他の記載法

- ・学名：全て言語かつイタリック体（またはアンダーライン使用）で記す。

- ・略語の使用：用紙および本文のそれぞれにおいて、最初の記載箇所においては全記し、続くカッコ内に以後使用する略語を記す。

例：後天性免疫不全症候群（エイズ）、mental health problem(MHP).

但し、図表中においてはnumberの略字としてのnまたはNは直接使用してよい。

- ・度量衡・時間表示：国際単位（kg, g, mg, mm, g/dl）を用い、温度は摂氏（℃）、気圧はヘクトパスカル（hpa）表示とする。

英字時間表示には、sec, min, hをピリオド無しで用いる。

「投稿先」

〒930-0194 富山市杉谷 2630

富山大学医学部看護学科

富山大学看護学会誌編集委員会 長谷川ともみ 宛

\* 封筒に論文在中と朱書し、郵便書留にて発送のこと